

・働き方を考える講演会「なんのために働く？」

日時 平成 25 年 3 月 10 日（日）18 時から 20 時 30 分まで

場所 大谷婦人会館（京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町 215）

講師 西村 佳哲 氏（リビングワールド代表、プランニング・ディレクター、働き方研究家）



依然として、大学生の就職は厳しい状況にあり、また、新卒後 3 年以内に離職する割合が高まっていると言われています。こういった状況の中で、これから働く学生と、既に働いている社会人が集まって、働き方研究家である西村氏をお迎えし、「人は、なんのために働くのだろうか？」「生きてゆくために、本当に必要なものは何だろうか？」「社会における仕事のあり方って、どういうものだろうか？」を考えようと企画しました。



講師の西村佳哲氏は、「つくる」「書く」「教える」、大きく 3 種類の仕事に携わっておられ、ウェブサイトやミュージアム展示物、公共空間のメディアづくりなど、各種デザインプロジェクトの企画・制作ディレクションや、京都工芸繊維大学などでのデザイン・プランニングの講義やワークショップを担当されるとともに、働き方研究家として「自分の仕事をつくる」「自分をいかして生きる」「自分の仕事を考える 3 日間」「みんな、どんなふうに通って生きてゆくの？」「かわり方のまなび方」「いま、地方で生きるということ」「なんのために仕事？」などの著作があります。

今回は、西村氏による講演の後、参加者が小グループに分かれて、それぞれの考え、感想を話し合った後、全員が講師に質問を出して、講師から質問に対してコメントをいただきました。

参加者の感想には、

- ・直接西村さんに質問できたことも、周りの方と意見・感想をシェアできたことも良かったです。自分の中で仕事についてモヤモヤしていたことが晴れました。
- ・印象に残ったメッセージとして、「仕事とは」とことんその事に対して、どこまでもより良い改善点を持ち、求め続けていくことだ。信念持つことだ。諦めずにこだわりを持ち続けていくこと。終わりのない事。今に満足しては進歩がないという事など改めて考えました。
- ・「自分が素通りできないことが仕事にできること」という言葉に納得しました。
- ・大変ためになるヒントが話のなかにありました。
- ・お話を聞いて、もっとポジティブに仕事をするということについて考えようと思いました。
- ・参加者と意見交換することで、前向きな姿勢に影響を受けました。プロ意識を高めるには、常に問題意識を深めないといけないと感じました。などの感想をいただきました。

参加者には、社会人も多く参加され、生きていくなかで、悩みを抱えながら仕事をしている姿をみることができました。

西村さんには、終了後、可能な限り時間ギリギリまで、参加者からの質問に答えていただきました。ありがとうございました。

